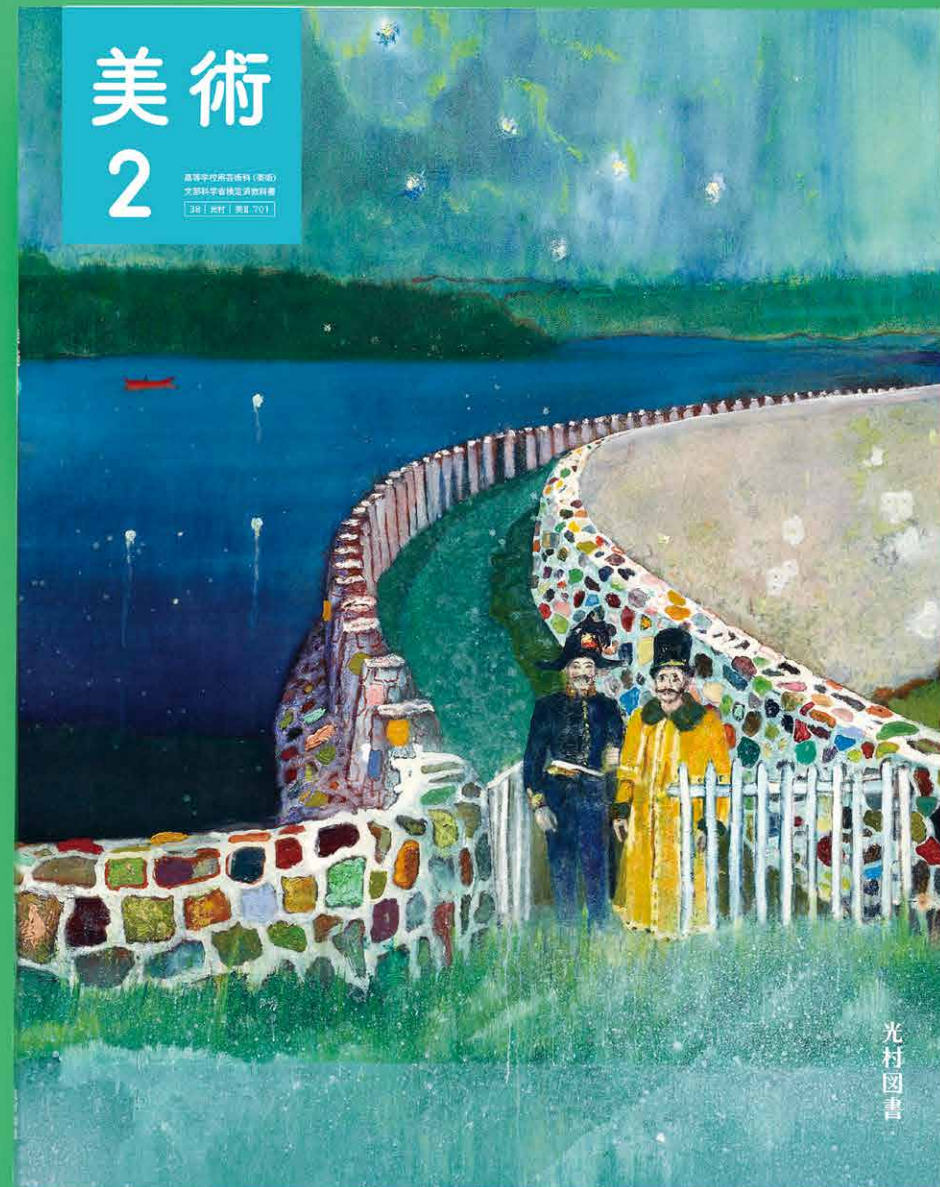


編集の趣旨と特色

令和5年度版 高等学校「美術2」



POINT 1 社会とのつながりを意識した題材構成

POINT 2 ダイナミックな鑑賞題材

POINT 3 大充実! 色の資料

POINT 4 理解が深まるQRコンテンツ

「美術1」のご案内

◎令和5年度 教科書の題材構成 ◎令和5年度版教科書 検討の観点と内容の特色

光村図書

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村の美術教科書ラインアップ

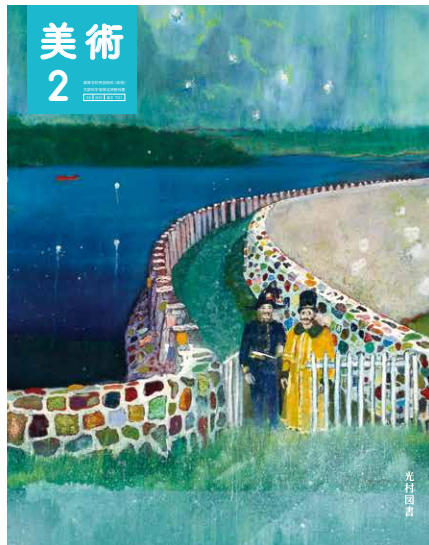
美術1

38 光村 美Ⅰ 701



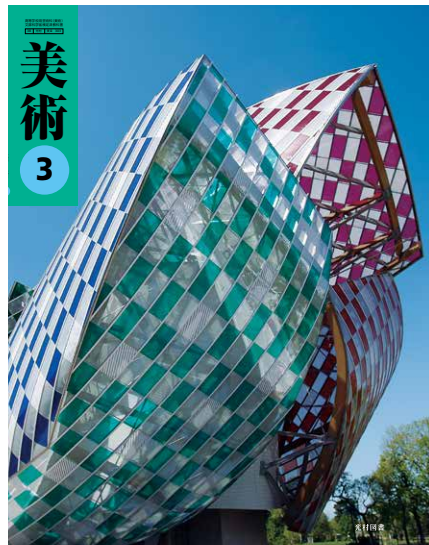
美術2

38 光村 美Ⅱ 701



美術3

38 光村 美Ⅲ 303



著作者

酒井忠康 [美術評論家・世田谷美術館館長]

伊藤有幸 [アニメーション作家・東京藝術大学大学院教授]

岩佐まゆみ [大分県立大分西高等学校指導教諭]

上野行一 [元高知大学教授]

O JUN [画家]

川上典李子 [デザインジャーナリスト・21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター]

黒木 健 [元秋田県立西目高等学校教諭]

近藤誠一 [元文化庁長官]

菅沼 聖 [山口情報芸術センター主任エデュケーター]

鈴木雅之 [宮城県栗田郡川崎町立富岡中学校教頭]

タカザワケンジ [写真評論家]

立川公子 [神奈川県立多摩高等学校教諭]

直江俊雄 [筑波大学教授]

中島千波 [日本画家・東京藝術大学名誉教授]

名取和幸 [色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事]

野田弘志 [画家・広島市立大学名誉教授]

藤原えりみ [美術ジャーナリスト]

舟越 桂 [彫刻家・東京造形大学客員教授]

三沢厚彦 [彫刻家・武蔵野美術大学教授]

森田りえ子 [日本画家・京都市立芸術大学客員教授]

森山明子 [デザインジャーナリスト・武蔵野美術大学教授]

諸川春樹 [多摩美術大学教授]

安村敏信 [一般財団法人北斎館館長]

渡辺晋輔 [国立西洋美術館学芸課長]

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代

[工学院大学准教授・NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)理事]

特別支援教育に関する校閲

佐島 毅 [筑波大学准教授]

編集協力

加藤浩司 [三重県立飯野高等学校教諭]

佐々木秀夫 [宮城県宮城第一高等学校教諭]

丹羽 裕 [宮城県宮城野高等学校主幹教諭]

教授資料のご案内

作品解説から指導案まで、
充実の内容で指導をサポート。

『高等学校 美術1 教授資料』



【主な内容】

- ◎年間指導計画のための資料
- ◎掲載作品・作家解説
- ◎教科書題材に沿った学習指導案
- ◎デジタル教材DVD-ROM
(音声ガイドや技法動画、技法資料図版、ワークシート集など
充実のデジタル資料)
- ◎美術史年表ポスター(2枚)



A4判・136頁／
11,000円(税込)
ISBN
978-4-8138-0375-1



『高等学校 美術2 教授資料』

【主な内容】(予定)

- ◎年間指導計画のための資料
- ◎掲載作品・作家解説
- ◎教科書題材に沿った学習指導案
- ◎デジタル教材DVD-ROM

『高等学校 美術3 教授資料』

【主な内容】

- ◎年間指導計画のための資料
- ◎掲載作品・作家解説
- ◎教科書題材に沿った学習指導案・実践事例
- ◎ARコンテンツなど、
充実の関連動画資料のご案内

A4判・80頁／4,950円(税込)
ISBN 978-4-8138-0079-8

◎ウェブサイトのご案内

令和5年度版 高等学校「美術2」教科書に関する情報や、授業づくりに役立つ教授用資料を随時アップしていきます。

www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/k_bijutsu/index.html



内容解説資料 発行者：吉田直樹 発行所：光村図書出版株式会社 〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 電話：03-3493-2111(代表)

光村図書ウェブサイト：www.mitsumura-tosho.co.jp 印刷：梅田印刷株式会社 デザイン：渋井史生 [PANKEY inc.] イラスト：朝野ベコ(P.7) 写真：竹達照夫

この出版物の内容は国連によって承認されておらず、国連またはその職員や加盟国の見解を反映するものではありません。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



光村図書

POINT 1 社会とのつながりを意識した題材構成

生徒たちが、社会と美術とのつながりを実感できるような作品を選び、題材を構成しました。

環境問題をテーマに制作する作家を大きく掲載

環境問題やサステナビリティをテーマにした作品を制作しているアーティスト、オラファー・エリアソンを巻頭で大きく取り上げました。

P.4～5「作家の手法 オラファー・エリアソン」

編集部
ここがこだわり！

国際的に高い評価を得ているオラファー・エリアソン。2020年夏には東京都現代美術館で大規模な個展が開催されました。彼の代表作やアイデアスケッチを掲載しています。

作家の手法 アーティスト オラファー・エリアソン

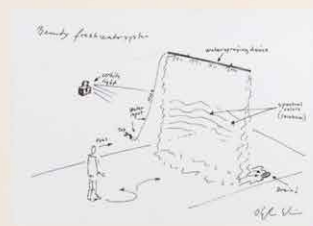
「体験そのものが作品の本質」

私の作品で重要なのは、体験することです。例えば「アイス・ウォッチ」(P.5)という作品では、氷河から氷を選び、街中に展示しました。氷が溶けることは、知識として誰でも知っています。しかし、実際に氷に触れた人たちは「冷たい」と驚きます。つまり、頭で知っていることと、体験から得られるものは全く異なっていて、氷に触れたとき、その二つが結び付くのです。

私が今関心を持っているのは、どうすれば私たち一人一人が「地球の気候変動とつながっている」という実感をもつことができるかということです。頭の中で知っているだけでは、行動に結び付きません。身体的な関与から得られた実感こそが一人一人の行動につながると信じて、作品を制作しています。

「ビューティー」について

「ビューティー」(P.2～3)は天井から、霧状の水をカーテンのように降らせ、そこにスポットライトで光を当てた作品だ。制作のためのスケッチなどを見てみよう。



「ビューティー」のためのスケッチ 1993年
スポットライト、鑑賞者、水のカーテンの位置や、作品の仕組みなどが記されている。

スタジオ内に機材を設置し、虹の見え方を確かめている様子。「ビューティー」で使ったスポットライトは一つだけだったが、ここではより規模の大きな「レインボー・アセンブリー」のために、スポットライトを複数使った試行を行っている。



スタジオでの制作

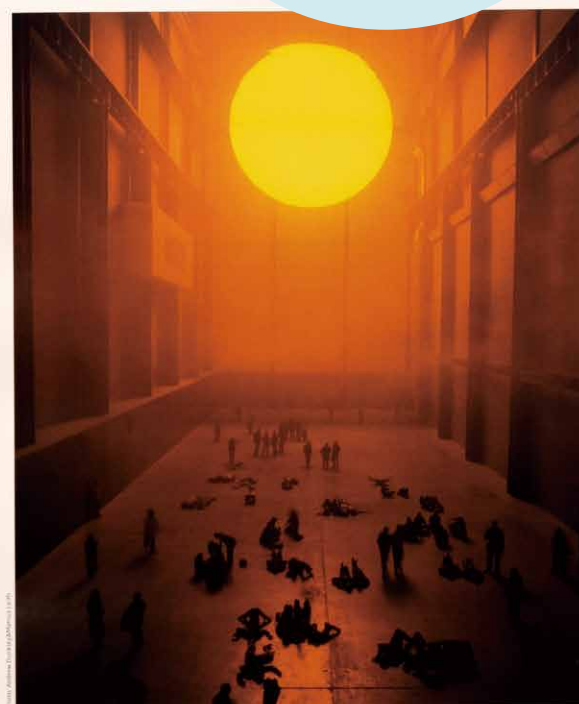
エリアソンは職人や建築家、美術家、デザイナーなど、さまざまな専門家と共同で「スタジオ・オラファー・エリアソン」として作品を制作している。スタジオには合計120名以上が所属し、さまざまな作品を同時進行で制作している。



左：黒い板に色とりどりのガラス球を付けた「エア・アンブレラ」の制作風景。
右：ライトを制作するワークショップ「グリーンランド・プロジェクト」のための準備の様子。



1967年デンマークのコペンハーゲンに生まれる。93年以降、雨や霧、光など形の気象や自然をテーマに作品を制作している。



アイス・ウォッチ 氷河の氷 2015年
バンテオン広場（フランス）での展示
地質学者と共同で制作した作品。グリーンランドの氷河から解けた氷の塊を海から引き揚げ、街中に展示した。地球温暖化による影響を、鑑賞者に体感させることを意図している。フランスで行われた、気候変動についての国際会議に合わせて制作された。



鑑賞者は自由に氷に触り、氷の溶けたさや様々な溶けていく様子を感じることができる。

ウェザー・プロジェクト
約200個のライト、霧発生機、鏡、アルミニウム他
2003年 テート・モダン（イギリス）での展示
室内に太陽を出現させたかのような作品。天井全体に鏡を貼り、人工の霧を発生させることで、独特な空間を生み出した。半円形の巨大なスクリーンを天井の鏡に映して円形に見せ、裏から強力なライトを点灯して、太陽のような光をつくり出している。



スクリーンを真下から見た様子。光る二つの円のうちの左がスクリーン、右がライト。鏡面になった天井には鑑賞者の姿が映り込んでいる。



天井が鏡面になっているため、多くの人々が床に寝そべて鑑賞した。



鑑賞者は自由に氷に触り、氷の溶けたさや様々な溶けていく様子を感じることができる。

制作過程やスタジオの様子を詳しく紹介

巻頭に掲載した「ビューティー」(P.2～3)のアイデアスケッチや、スタジオでの制作風景を紹介しています。

環境問題について考えさせる作品を掲載

地球温暖化による影響を鑑賞者に体感させることを意図した作品「アイス・ウォッチ」を掲載しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsに関連した作例を多数掲載

生徒たちがSDGsについて考えられるような作例を数多く掲載しています。



使い捨てのプラスチック製品を削減するためにデザインされた、自然素材でできた機内食の食器を紹介しています。「飛行機の機内食のための食器セットとその原材料」(P.38)



デザインエンジニアの山中俊治による、陸上競技用義足を制作過程とともに掲載しました。「Rami ver1.0」(P.40～41)

防災についての情報をまとめた「東京防災」を掲載。災害時の対応などをわかりやすく伝えるための工夫を紹介しています。「東京防災」(P.39)



援助や配慮が必要な人が、援助を得やすくなるようにつくられた「ヘルプマーク」。作者の言葉やアイデアスケッチとともに紹介しています。「ヘルプマーク」(P.38)

他にもSDGsに関連した作品を掲載！

運命の門(P.24)、ジョルジュ・ルース アートプロジェクト in 宮城(P.32)、TAKAO 599 MUSEUM(P.35)、避難所用 紙の間仕切りシステム(P.39)、チャリーチェア(P.43)、バルミラの住宅(P.45)、Tree-ness House(P.45)、Great (Bamboo) Wall(P.46)、Jeju Ball(P.47)、高柳町 陽の楽家(P.47)

POINT 2 ダイナミックな鑑賞題材

ワイドな紙面を生かして、ミケランジェロの代表作「システィーナ礼拝堂 天井画」を6ページにわたり、大胆に掲載しました。

美しい高精細図版

天井に描かれた人物をじっくり鑑賞できるよう、高精細図版を掲載しました。
扉のページには、「アダムスの創造」の部分を大きく紹介しています。

教科書だからできる鑑賞体験

実際のシスティーナ礼拝堂の天井高は約20メートル。現地でこの天井画を見上げても、肉眼で細部までじっくり見ることは難しいのが現状です。
そのため新版教科書では、両観音開きで天井画を大きく掲載。
作品にぐっと近づいたような感覚で、隅々まで鑑賞できるようにしました。

鑑賞が深まる音声ガイド

システィーナ礼拝堂の、映像付きの本格的な解説動画をご用意しました。
教科書掲載のQRコードから視聴することができます。



詳しくは
本資料 P.8



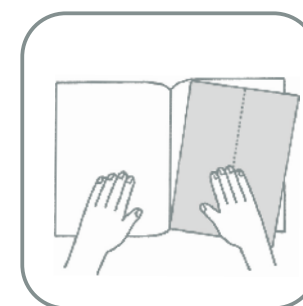
POINT 3 大充実! 色の資料

新学習指導要領で重視されている〔共通事項〕の学習に役立つ色の資料が充実しています。
巻末に、コンパクトに折りたたんで使える切り離し式の資料をご用意しました。

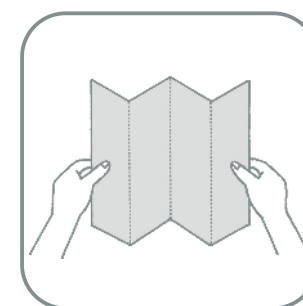
切り離し式資料「トーン別カラーガイド」

さまざまな色をトーン別に掲載した資料です。配色カードとして使ったり、
デジタルで制作する際に活用したりできるカラーガイドです。

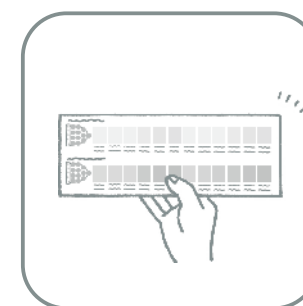
いろいろな場面で
活躍する
本格的な
カラーガイド



① 切り離す
ミシン目に沿って、
教科書から
切り離します。



② 折りたたむ
点線に沿って
折りたたみます。



③ 活用する
絵を描くとき、
ポスターの配色を
考えるときなど、
さまざまな場面
でお使いください。



① C:0 M:40
Y:10 K:7
② R:234 G:171 B:186
③ #EAABBA

①CMYK値

色料の三原色と黒のインク(K)の
数値。主に印刷の際に使います。

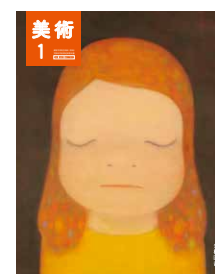
②RGB値

色光の三原色の数値。テレビやコ
ンピュータなどの画面で表示する
ものを制作するときに使います。

③HTMLカラーコード

ウェブ上の色を表現する6桁の数
値。ウェブサイトを作成するとき
に使います。

デジタルで
制作するときに
便利!



「美術1」には、
切り離し式「混色のヒント&色彩図鑑」が付いています!

「美術1」の巻末には、切り離し式資料「混色のヒント&色彩図鑑」をご用意。
「美術2」の切り離し式資料と合わせて使えばさらに色の世界が広がり、
表現や鑑賞のさまざまな場面で役立ちます。

「表面」混色のヒント

色相環を意識して、どのような色になるかを考えるための資料です。

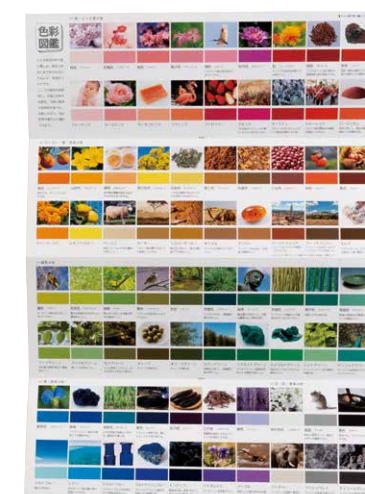


混色表を掲載しているので、絵の具で色をつくる際の
参考にすることができます。

絵の具を
使って制作する
ときに便利!

「裏面」色彩図鑑

「日本の伝統色」「西洋の伝統色」を対
比して掲載。色名の由来も知ることが
できます。



POINT 4

理解が深まるQRコンテンツ

トップページは
こちらから。➡



題材の随所に、QRコードを掲載。学びが深まるウェブコンテンツにリンクしています。

音声ガイド

大きく取り上げた「システィーナ礼拝堂」に、音声ガイドをご用意しました。映像付きの本格的な作品解説なので、授業はもちろん、自主学习にも役立ちます。

〔画面〕



編集部
ここがこだわり！
3DCGの技術を用いて、礼拝堂内部の様子を再現。まるで現地にいるような臨場感を味わえる映像に仕上がりました。



P.13「祈りの場を彩る」

教科書に掲載している
QRコードからリンクしています。

〔音声〕

イタリア半島の中央、ローマ市内にあるヴァチカン市国。キリスト教カトリックの総本山、ローマ教皇庁が置かれています。システィーナ礼拝堂は、教皇の選挙が行われる大切な場所。世界的に有名ですが、それにはもう一つの理由があります。それは、イタリア・ルネサンスの巨匠、ミケランジェロの大作があるからです。入り口から中に入ったつもりで体感してみてください。幅13m、全長36mの天井画。聖書の物語や人物が描かれています。ミケランジェロは、このとき30代前半。足場を組み、上から滴り落ちる絵の具を全身に浴びながら、実質3年あまりをかけて完成させました。全体の構図を見てみましょう。…（以下略）

技法動画

鉛筆デッサン、水彩画、油彩画、塑造など、よく使われる技法の解説動画をご用意しています。自主学习の際にも、必要な技法を何度も確認することができます。

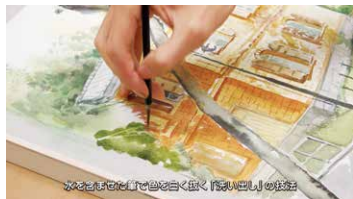
P.66～67「学習を支える資料一覧」



鉛筆で
静物を描く



鉛筆で
石膏像を描く



水彩絵の具で
風景を描く



油絵の具で
静物を描く



平塗りで
リングを描く



日本画の絵の具で
花を描く



多版多色刷木版の
手順



粘土で
手の彫刻をつくる

作品関連動画

教科書に掲載した映像作品を全編視聴することができます。他にも、作品をより詳細に鑑賞できる動画もご用意しています。



あむろなみえ
安室奈美恵
「Golden Touch」の
映像を
見てみよう

P.55「ミュージックビデオをつくる」



「ジョルジュ・
ルース
アート
プロジェクト
in 宮城」
制作風景

P.32「不思議な空間をつくる」



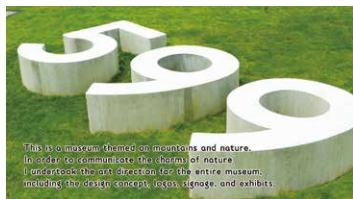
たまき ロイ
環ROY
「Wonderful」の
映像を見てみよう

P.55「ミュージックビデオをつくる」



えもとゆうすけ
江本祐介
「ライトブルー」の
映像を見てみよう

P.54「ミュージックビデオをつくる」



「TAKAO 599
MUSEUM」に
ついて知ろう

P.35「トータルデザインを考える」



「CanguRo」を
動画で見てみよう

P.41「作家の手法 山中俊治」

作家関連動画

作品の制作過程や、作家自身による作品の解説動画を見ることができます。



かざま
風間サチコ「決闘! 硫黄島
きんだい ごしゅまろきんご」制作風景
P.23「作家の手法 風間サチコ」



はなけやまなおや
写真家・畠山直哉インタビュー
「『Blast』シリーズについて」
P.51「作家の手法 畠山直哉」

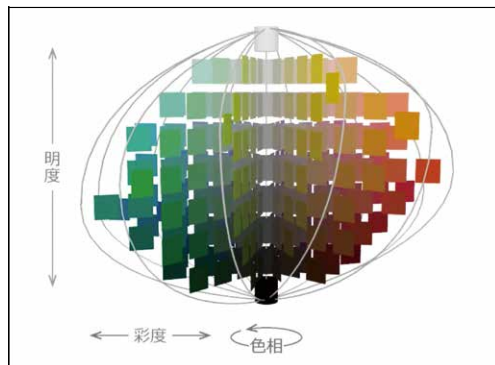
色の資料

色について深く学べる
C G 動画を
見ることができます。



色の三属性と色立体

P.67「学習を支える資料一覧」



美術史ワード

美術史に関連する42の用語を詳しく解説。
美術用語辞典のように
活用することができます。



P.67「学習を支える資料一覧」



全国の多彩な生徒作品

全国の高校生の作品を、作者の言葉とともに見ることができる「[ART BY STUDENTS](#)」にリンクしたQRコードを掲載。
授業の中で作例を見せる場合などにご活用いただけます。

人物を描く

作品を選択すると、その作品の全体と作者の言葉がご覧いただけます。

この先方に、
アクリル、段ボール、アルミナ
ホワイト / 116.7x91cm / 岐阜
県、2年

青春の光と影と、ー
油彩、アクリル / 91x117cm / 岐阜
県、3年

夏に抱かれて
油彩 / 72.7x91cm / 岡山県、3年

Luz de esperanza
キャンヴァス、油彩 / 91x116.7c
m / 岡山県、3年

プロセルピナにアコがれて
アクリル / 103x42cm / 岡山県、
3年

ゆらめく
アクリル / 36.4x51.5cm / 大分
県、2年

夏に抱かれて
油彩 / 72.7x91cm / 岡山県、3年

作者の言葉
夏草の力強く生きる姿を絵に閉じ込めたいと思った。人間の弛緩した様子と、
空に向かって真っすぐ伸びる草たちの対比を感じられるよう描いた。

クリックすると、
拡大画像や
作者の作品に込めた思い、
制作意図などを
ご覧いただけます。
画像だけを
保存することもできます。

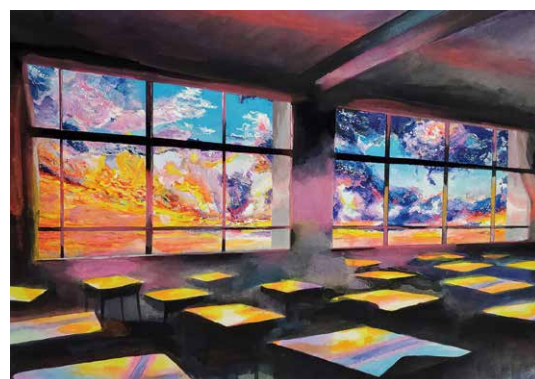
以下の題材に掲載したQRコードから、たくさんの生徒作品を見ることができます。



人物を描く (P.8)



素材と
向き合う
(P.28)



風景を撮影する
(P.48)



心の中の風景
(P.20)

ART BY STUDENTSでは、 約250点の生徒作品を掲載！



生徒作品
ぞくぞく増加中！
選りすぐりの生徒
作品を随時追加し
ています。



全国の高校生の作品を集めた
日本最大規模の生徒作品アーカイブサイトです。

作品ジャンル一覧



身近なものを描く …… 23点



風景を描く …… 51点



想像した世界を描く …… 42点



自己をあらわす …… 27点



人物を描く …… 23点



素材を生かして …… 26点



メッセージを広く伝える …… 14点



人物を撮影する …… 9点



風景を撮影する …… 14点



映像をつくる …… 13点



テーマを決めて撮影する …… 8点

※作品点数は2021年12月時点



「美術1」のご案内

「美術1」は、教科書を開いた生徒がもっと「つくりたい!」「見てみたい!」と思えるような教科書を目指しました。

POINT 1 表現のヒントになる「作家の手法」

「作家の手法」では、生徒の発想や構想のヒントになるよう、作家が作品をどのように発想し、どうつくりあげていくのかを詳しく紹介しています。

アトリエの様子

作家の個性があらわれるアトリエで、普段の制作の様子を撮影しました。

制作過程

一つの作品が生まれるまでの過程を丁寧取材・撮影して、紹介しています。

P.40~41「作家の手法 三沢厚彦」



アイデアスケッチ

作家がどのように作品を発想したのかがわかるよう、アイデアスケッチを多く掲載しています。

QRコード

作家の制作している様子を動画で視聴することができます。

POINT 2 質にとことんこだわった鑑賞題材

和紙風用の紙に印刷 本物に近い風合いで日本美術の作品を鑑賞できるよう、和紙風用の紙に印刷しました。

ダイナミックな鑑賞図版

曽我蕭白の「雲龍図」を、3ページにわたって大きく掲載。かすれ、にじみなど、墨の多様な表現をじっくり鑑賞することができます。

P.15~16「絵巻物を楽しむ」



P.13~14「墨で描く」

「鳥獣人物戯画 甲巻」を全て掲載

「鳥獣人物戯画」の中でも特に人気のある甲巻を、始めから終わりまで全て掲載。ストーリーを考えながら鑑賞することができます。

比べて鑑賞する

複数の作品を比較鑑賞する題材を設けました。共通点や違いを感じ取ったり、感じたことを話し合ったりすることができ、作品への理解を深めることができます。

比較鑑賞でもっと深まる

組み合わせて描かれた日本と西洋の作品を比べて鑑賞し、それぞれのよさを味わうことができます。

編集部 ここがこだわり!

質の高い図版をじっくり鑑賞できるよう、印刷にもとことんこだわりました。本物に近い色が出るまで、何度も色の確認を行っています。

P.30~31「比べて鑑賞する 組み合わせる」

POINT 3 充実の巻末資料

高校の美術で使われるほぼ全ての技法を掲載しました。

他にも〔共通事項〕に関する資料、発想の広げ方や美術史など、必要なときに参照できる資料を網羅しています。

手順を横一列で

技法の手順がひと目で捉えられるよう、横一列で示しました。

吹き出しでワンポイントアドバイス

各手順のポイントを、吹き出しでわかりやすく示しました。

QRコードで動画を確認

QRコードから、動画で技法を確認することができます。

➡ 詳しくは次ページ



P.84～85「水彩絵の具で描く」

使う用具をわかりやすく

その技法で使う用具を1点ずつ掲載し、整理して配置しました。

巻末資料 目次

- ◎さまざまな絵の具
- ◎鉛筆で描く
- ◎水彩絵の具で描く
- ◎油絵の具で描く

- ◎アクリル絵の具で描く
- ◎日本画の絵の具で描く
- ◎版画の技法
- ◎彫刻(塑造)の技法
- ◎文字をデザインする
- ◎写真を撮影する

- ◎映像を撮影する
- ◎発想の広げ方
- ◎美術館を楽しむ
- ◎美術鑑賞を楽しむ手がかり
- ◎美術史年表
- ◎デザイン史・写真史年表

- ◎色の特徴を知ろう
- 色の性質
- 色の効果
- 配色のヒント
- ◎切り離し式資料
- 混色のヒント
- 色彩図鑑

表現・鑑賞全ての題材に関連する色の資料が充実!

➡ 詳しくは本資料P.7へ

POINT 4 多彩なQRコンテンツ

トップページはこちらから。➡



題材の随所に、QRコードを掲載。学びが広がるウェブコンテンツにリンクしています。

音声ガイド …… 全9本

大きく取り上げた鑑賞題材には、音声ガイドをご用意。映像付きの本格的な作品解説なので、授業はもちろん、自主学習にも役立ちます。



〔画面〕

かつしかほくさい しよこくたきめぐ しもつけくろかみやま たき
葛飾北斎「諸国瀧廻り下野黒髪山きりふりの滝」

北斎の滝を描いたシリーズ「諸国瀧廻り」の説明や、モデルになった滝の映像などをまとめた、作品の理解を深める動画です。

〔音声の一部〕

この絵は日本全国の有名な滝を八つ収めた「諸国瀧廻り」という木版画シリーズの1枚、日光の霧降ノ滝をあらわしたものです。実際の霧降ノ滝を見てみましょう。高さ75メートル、…

作家・作品関連動画 …… 全7本

作家のインタビュー映像や、掲載作品の制作過程、作品に関連した映像などを見ることができます。



画家・浅井裕介インタビュー

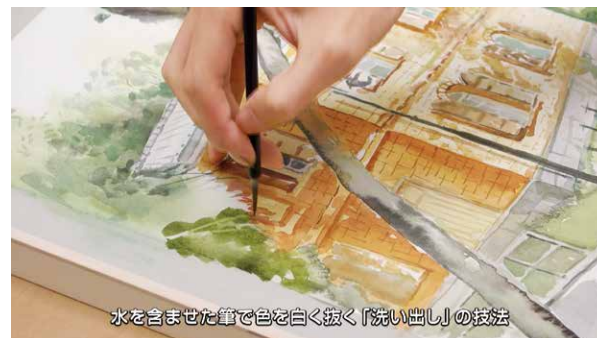
全国の生徒作品 …… 約250点

全国の高校生の作品を、作者の言葉とともに見ることができ、生徒が自分の表現に生かせます。



技法動画 …… 全16本

鉛筆デッサン、水彩画、油彩画などのよく使われる技法をご用意しています。自主学習の際にも動画で何度も確認することができます。



水彩絵の具で風景を描く



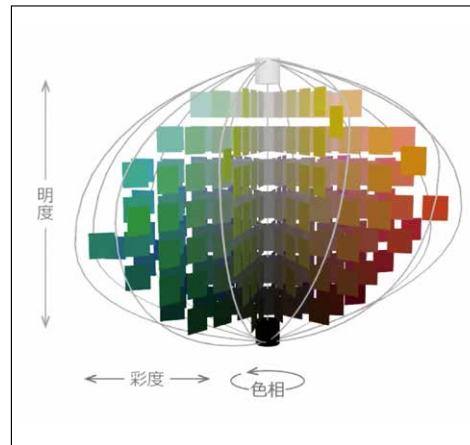
鉛筆で石膏像を描く

油絵の具で静物を描く

色の資料 …… 全4本

色立体を知ろう

色について深く学べるCG動画やアニメーションなどを見ることができます。



美術史ワード …… 全42項目

美術史に関連する用語をわかりやすく解説。美術用語辞典のように活用できます。



令和5年度 教科書の題材構成 ※●は表現、◆は鑑賞をあらわしている。

美術1
(38光村美I701)

ページ	分野等	題材
P.2～3		目次／前書き
P.4～5	はじめに	作家の手法 浅井裕介
P.6～7	絵画・彫刻	●身近なものを描く
P.8～9		作家の手法 中島千波
P.10～11		◆[比べて鑑賞する] 樹や点で描く
P.12～14,19		●墨で描く
P.15～18		◆絵巻物を楽しむ 鳥獣人物戯画
P.20～21		◆[作家の生涯と作品] 葛飾北斎
P.22～23		●風景を描く
P.24～25		作家の手法 津上みゆき
P.26～27		●想像した世界を描く
P.28～29		作家の手法 遠藤彰子
P.30～31	デザイン	◆[比べて鑑賞する] 組み合わせる
P.32～34		●自己をあらわす ※映像メディア表現を含む
P.35		作家の手法 横尾忠則
P.36～37		◆仏像の美
P.38～39		●生命感をあらわす
P.40～41		作家の手法 三沢厚彦
P.42～43		●場所との対話
P.44～47		◆[作家の生涯と作品] パブロ・ピカソ
P.48～49	デザイン	●メッセージを広く伝える
P.50～51		作家の手法 佐藤 卓
P.52		●マークやサインで伝える
P.53		作家の手法 廣村正彰
P.54～56		●文様で飾る
P.57		作家の手法 皆川 明
P.58～59		●パッケージのデザイン
P.60～61		◆[比べて鑑賞する] スプーンのデザイン
P.62～63		◆空間をデザインする
P.64～65		◆[作家の生涯と作品] ル・コルビュジエ
P.66～67	映像メディア表現	●人物を撮影する
P.68～69		◆[比べて鑑賞する] 人を撮る
P.70～71		●テーマを決めて撮影する
P.72～73		◆写真表現の可能性
P.74～75		●アニメーションをつくる
P.76		作家の手法 伊藤有彦
P.78～79	資料	さまざまな絵の具
P.80～83		鉛筆で描く
P.84～85		水彩絵の具で描く
P.86～87		油絵の具で描く
P.88～89		アクリル絵の具で描く
P.90～91		日本画の絵の具で描く
P.92～95		版画の技法
P.96～97		彫刻（塑造）の技法
P.98～99		文字をデザインする
P.100～101		写真を撮影する
P.102～103		映像を撮影する
P.104～105		発想の広げ方
P.106		美術館を楽しむ
P.107		美術鑑賞を楽しむ手がかかり
P.108～110		美術史年表
P.111～113		デザイン史年表／写真史年表
P.114～115		色の性質 色の効果 配色のヒント
P.116～117		
P.118～119		
P.121～122		切り離し式資料 色彩図鑑 混色のヒント
P.123～124		
P.120,125		後書き

美術2
(38光村美II701)

ページ	分野等	題材
P.2～3		目次／前書き
P.4～5	はじめに	作家の手法 オラファー・エリアソン
P.6～7	絵画・彫刻	◆[比べて鑑賞する] 花を描く
P.8～9		●人物を描く
P.10～11		●人の形を追求する
P.12～13		◆折りの場を彩る
P.14～19		◆システィーナ礼拝堂 天井画
P.20～21		●心の中の風景
P.22,24～25		●版表現の可能性
P.23		作家の手法 風間サチコ
P.26～27		◆抽象への誘い
P.28～29		◆素材と向き合う
P.30～31	デザイン	作家の手法 青木野枝
P.32～33		◆不思議な空間をつくる
P.34～35		●トータルデザインを考える
P.36～37		◆[作家の生涯と作品] 亀倉雄策
P.38～39		●問題解決のためのデザイン
P.40～41		作家の手法 山中俊治
P.42～43		◆[比べて鑑賞する] 椅子のデザイン
P.44～45		●住まいをデザインする
P.46～47		作家の手法 隈 研吾
P.48～50	映像メディア表現	●風景を撮影する
P.51		作家の手法 畠山直哉
P.52～53		◆採集するように撮影する
P.54～55		●ミュージックビデオをつくる
P.56～57	資料	写真撮影の基本
P.58～59		写真を編集する
P.60～61		漫画表現の技法
P.62～63		アニメーションの歴史
P.64～65		絵に隠された謎を読み解く
P.66～67		学習を支える資料一覧
P.69～72		切り離し式資料 トーン別カラーガイド
P.68,73		後書き

美術3
(38光村美III303)

ページ	分野等	題材
P.2～3		目次／前書き
P.4～5	はじめに	社会に開かれる美術
P.6～7	絵画・彫刻	●私のいる世界
P.8～9		●鉛筆の可能性
P.10～11		◆[作品鑑賞室] 生命のサイクル
P.12～13		◆[作家の生涯と作品] 岡本太郎
P.14～15		●響き合うイメージ
P.16～17		●自然の力を生かして
P.18～19		◆[作品鑑賞室] 迫り来る龍神
P.20～21		◆[見る・知る・学ぶ] 絵画の修復
P.22～23		●書物のデザイン
P.24～25	デザイン	●安心をつくるデザイン
P.26～27		●自然との共生
P.28～29		◆[作家の生涯と作品] 田中一光
P.30～31		◆[見る・知る・学ぶ] オリンピックのデザイン
P.32～33		●光を捉える
P.34～35		●編集で広がる映像の世界
P.36～37		◆[見る・知る・学ぶ] 時代の精神を感じて
P.38～39	資料	ポートフォリオをつくる
P.40～45		美術を学んで広がる未来
P.46～47		後書き

令和5年度版教科書

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術1

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術I	美術1	38 光村	美I 701	光村図書出版

観 点		特 色 ・ 具 体 例		該 当 ページ	
① 内 容 の 選 択 ・ 程 度					
◎学習指導要領，教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。		学習指導要領に示された「美術Ⅰ」の目標・内容を踏まえ，A表現・B鑑賞の題材がバランスよく，相互に関連を図りながら適切に配置されている。		教科書全般	
◎基礎的，基本的事項の理解や，その習得のため，適切な配慮がなされているか。		日本や西洋の美術だけにとどまらず，幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており，生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。			
		各題材や巻末資料の中で，作品をつくるときの手がかかりや基礎的な技法が具体的に示されており，表現活動に生かすことができる。			
② 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量					
◎内容の組織，配列，分量は，学習指導を有効に進められるように考慮されているか。		題 材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻，デザイン，映像メディア表現の分野別に整理され，バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており，学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般	
			各題材では学習のねらいを示した目標が記されており，学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般	
			表現中心の題材には，「作家の手法」というページが設けられている。生徒が作品の主題を生み出す手がかかりとできるよう，作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.4～5,8～9,24～25,28～29,35,40～41,50～51,53,57,76	
			表現中心の題材の随所に，作品を発想し制作する際に参考になる「表現のヒント」が掲載されている。	P.7,12,23,59	
			模絵や絵巻物，浮世絵が和紙風の用紙に印刷されており，本物に近い風合いで鑑賞することができる。	P.13～20	
		巻 末 資 料	鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では，作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり，それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど，実感的に理解を深めることができる。	P.10～11,30～31,60～61,68～69	
			巻末に「鉛筆で描く」「水彩絵の具で描く」「油絵の具で描く」といった技法についての資料が設けられており，制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。	P.80～103	
			色彩に関する巻末資料は計10ページ設けられ，(共通事項)の指導に生かすことができる。「混色のヒント」「色彩図鑑」は教科書から切り離すことができ，折りたたんで持ち運ぶことができる。	P.114～119,121～124	
			観音開き3ページにわたる「美術史年表」では，日本及び諸外国の美術を歴史の流れや文化的背景とともに理解することができる。	P.108～110	
			「デザイン史年表」では社会状況の変化に対応したデザインの歴史が，「写真史年表」では撮影機材の進歩の歴史と各時代の写真作品が整理され，デザインや映像メディア表現の分野の歴史を学ぶことができる。	P.111～113	
		Q R コ ン テ ン ツ	各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており，関連するQRコンテンツとリンクしている。大きく掲載する鑑賞図版は，動画付きの音声ガイドとリンクしており，鑑賞を深めることができる。	教科書全般	
			表現中心の題材および巻末資料は，鉛筆デッサンをはじめ水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画など，さまざまな技法動画とリンクしている。	P.7,12,80,82,84,86,89,90,93,96,98	
			全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツが，関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を鑑賞し，自分の表現に生かすことができる。	P.6,22,26,32,48,66,70,102	
		③ 表 記 ・ 表 現 お よ び 使 用 上 の 便 宜			
◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎印刷の鮮明さ，活字の大きさ，行間，製本などは適切か。		表記・表現	用語や表記は統一されており，記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。		教科書全般
			教科書に使用されているマークは，誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり，学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。		
		造 本	A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし，2ページ大以上での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに，作品を細部まで鑑賞することができる。		
教 育 へ の 配 慮	UD特別支援	カラーユニバーサルデザイン，特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており，誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつけられている。			
		活字は鮮明で読みやすい大きさ，フォントが使用されており，キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。			
④ 総 合 所 見					
◎上記観点から見た，全体的・総合的な当教科書の特徴。		学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され，幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案，表現と鑑賞の各題材で活用できる多様な資料などが盛り込まれている。「美術の幅広い創造活動」を通して，「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅰ」の学習指導要領の目標に合致している。			教科書全般

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術2

観 点		特 色 ・ 具 体 例		該 当 ページ
① 内 容 の 選 択 ・ 程 度				
◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容を踏まえ、A表現・B鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。			教科書全般
	「美術Ⅰ」の学習を基礎にして、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする「美術Ⅱ」の性格を踏まえて、学習内容が工夫されている。			
	日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。			
	各題材や巻末資料の中で、作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。			
② 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量				
◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題 材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般	
		各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般	
		「作家の手法」というページでは、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう、作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.4～5,23,30～31,40～41,46～47,51	
		掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。	教科書全般	
	巻 末 資 料	鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では、作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり、それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど、実感的に理解を深めることができる。	P.6～7,42～43	
		色彩に関する巻末資料「トーン別カラーガイド」は、配色を考えたり、デジタルで色をつくる際に活用することができる。また、教科書から切り離すことができ、折りたたんで持ち運ぶことができる。	P.69～72	
		写真に関する資料「写真撮影の基本」「写真を編集する」では、撮影の技法だけでなく、データを適切に編集して保存する方法を掲載しており、端末を使った学習にも活用することができる。	P.56～59	
		「漫画表現の技法」では、実際の漫画作品の制作過程を例に、漫画制作の流れを学ぶことができる。また、多様な表現技法を用いた作品が紹介されており、幅広い表現に挑戦する手がかりとすることができる。	P.60～61	
	Q R コ ン テ ン ツ	「アニメーションの歴史」では、日本や世界のアニメーションの歴史が各時代のキーワードや図版とともに整理されており、アニメーションの誕生から21世紀のアニメーションに至るまでの流れを理解することができる。	P.62～63	
		各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており、関連するQRコンテンツとリンクしている。両観音開きで掲載された「システィーナ礼拝堂」には、動画付きの音声ガイドが用意され、鑑賞を深めることができる。	教科書全般	
		巻末資料「学習を支える資料一覧」のQRコンテンツでは、鉛筆デッサンをはじめ、水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が、動画で詳しく紹介されている。また、色の仕組みを理解するための色立体の動画や、美術史の用語の解説も見ることができ、知識を深めることができる。	P.66～67	
		全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツが、関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を鑑賞し、自分の表現に生かすことができる。	P.8,20,28,48	
③ 表 記 ・ 表 現 お よ び 使 用 上 の 便 宜				
◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。	表 記 ・ 表 現	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。 教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	教科書全般	
	造 本	A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大以上の作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。		
	UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつけられている。 活字は鮮明で読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。		
④ 総 合 所 見				
◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。			教科書全般

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術3

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅲ	美術3	38 光村	美Ⅲ 303	光村図書出版

観 点		特 色 ・ 具 体 例		該 当 ページ
① 内 容 の 選 択 ・ 程 度				
◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容を踏まえ、A表現・B鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。			教科書全般
◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」の学習を基礎にして、美術の諸能力を伸ばすことをねらいとする「美術Ⅲ」の性格を踏まえ、より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。			
	日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が取り上げられている。また現代社会や美術に関わる仕事をテーマにしたページを設け、社会や文化への視野を広げることができるよう工夫されている。			
	各題材の中で、作品をつくるときの手がかりや制作に役立つ資料が示されており、表現に生かすことができる。			
② 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量				
◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題 材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けがされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般	
		各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般	
		A表現では、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」などの題材が設けられ、多角的な鑑賞体験への提案がなされている。	P.6～37	
		表現の題材では、作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。	表現中心の題材全般	
	巻 末 資 料	「作品鑑賞室」では、鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し、意欲的に学習できるようになっている。	P.11,19	
		「美術を学んで広がる未来」では、美術に関わる職業が紹介され、その職業に携わる人のインタビューが掲載されている。美術への興味・関心を喚起させ、職業について意識させる内容である。	P.40～45	
		卒業を控えた生徒の参考となるように、巻末に「ポートフォリオをつくる」、キャリア教育を意図した「美術を学んで広がる未来」といった資料が設けられている。	P.38～45	
③ 表 記 ・ 表 現 お よ び 使 用 上 の 便 宜				
◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。	表 記 ・ 表 現	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。	教科書全般	
◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。		教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。		
◎印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。	造 本	A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大以上の作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。		
		製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。		
	UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつけられている。		
		活字は鮮明で読みやすい大きさ、フォントが使用されている。		
④ 総 合 所 見				
◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「創造的な諸活動」を通して、「生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める」という「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。			教科書全般